

EU Indicators

発表日: 2019年7月24日(水)

欧州経済指標コメント: 7月ユーロ圏PMI速報

～製造業の業況悪化が止まらない～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

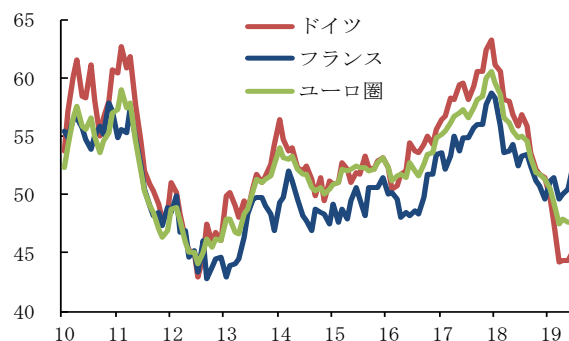
- 7月のユーロ圏の総合PMIは51.5と4月以来の水準に低下し、過去2ヶ月の改善加速分を吐き出した。内訳は、製造業PMIが46.4と6ヶ月連続で50割れを記録。前月から悪化モメンタムが一段と加速し、2012年末以来の水準に低下した。サービス業活動指数（サービス業PMI）が53.3と底堅い水準を維持したものの、3ヶ月振りに改善モメンタムが鈍化した。発表元のIHS Markitによると、同指数の水準は、ユーロ圏の実質GDPが4-6月期の前期比+0.2%程度から、7-9月期に同+0.1%程度に減速したことを示唆するとのこと。
- 製造業の業況冷え込みが一段と加速。貿易戦争、世界景気減速、ブレグジット、自動車業界の環境悪化などが重石となった。構成5項目の全てが50割れ（入荷遅延は逆数）。生産、受注判断、雇用判断、中間在庫が揃って前月から悪化幅が加速。5月以降に50割れが続く雇用判断は47台に水準を切り下げた。ドイツの製造業PMIは43.1と2012年央以来の水準。近年でこれ以上低かったのは、30台前半まで落ち込んだ2008-09年の景気後退期しかない。ドイツに比べて底堅かったフランスの製造業PMIも好不況の分岐点である50まで低下。サービス業はドイツ、フランスともに活動指数が底堅いが、特にドイツで受注判断や雇用判断が水準を切り下げている。製造部門の不振の長期・深刻化が、景気の下支え役のサービス分野や雇用判断に及び始めている。

■ユーロ圏のPMI



出所: IHS Markit

■ユーロ圏: 製造業PMI



出所: IHS Markit

■購買担当者指数 (PMI、季節調整済み)

	2018		2019		2019		2019							
	3Q	4Q	1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
ユーロ圏														
総合産出指数	54.3	52.3	51.5	51.8	53.1	52.7	51.1	51.0	51.9	51.6	51.5	51.8	52.2	51.5
製造業購買担当者指数	54.3	51.7	49.1	47.7	52.0	51.8	51.4	50.5	49.3	47.5	47.9	47.7	47.6	46.4
サービス業業況指数	54.4	52.8	52.4	53.1	53.7	53.4	51.2	51.2	52.8	53.3	52.8	52.9	53.6	53.3
ドイツ														
総合産出指数	55.2	52.4	52.1	52.5	53.4	52.3	51.6	52.1	52.8	51.4	52.2	52.6	52.6	51.4
製造業購買担当者指数	55.5	51.8	47.1	44.6	52.2	51.8	51.5	49.7	47.6	44.1	44.4	44.3	45.0	43.1
サービス業業況指数	55.0	53.3	54.6	55.6	54.7	53.3	51.8	53.0	55.3	55.4	55.7	55.4	55.8	55.4
フランス														
総合産出指数	54.4	52.3	49.1	51.3	54.1	54.2	48.7	48.2	50.4	48.9	50.1	51.2	52.7	51.7
製造業購買担当者指数	53.1	50.6	50.8	50.8	51.2	50.8	49.7	51.2	51.5	49.7	50.0	50.6	51.9	50.0
サービス業業況指数	55.0	53.2	49.0	51.7	55.3	55.1	49.0	47.8	50.2	49.1	50.5	51.5	52.9	52.2

出所: IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

